

3. 特筆すべき活動 ((1)・(2) でA4用紙1枚)

(1) 全学の教育研究に関する組織改編等への取組と協力, 特色ある教育GP等の採択状況と取組, 21世紀COE等の採択状況など。

- ◎概算要求:平成19年度概算要求研究推進「大学間連携事業:生体ーバイオマテリアル高機能インターフェイス科学推進事業(東北大学歯学研究科・金属材料研究所,九州大学応用力学研究所)」を申請,認可内示を受けた(説明資料①,①E).
- ◎特色ある教育GP:平成18年度魅力ある大学院教育プログラムに「インターシステム歯学研究コンソーシアム」を応募し,ヒアリングに臨んだ.
- ◎21世紀COEプログラムへの参画:シグナル伝達病の治療戦略創生拠点(研究リーダー:菅村和夫),医薬開発統括学術分野創生と人材育成拠点(研究リーダー:今井潤)にメンバーとして本研究科教員が参画している. ナノテクノロジー基盤機械科学フロンティア(研究リーダー:庄子哲雄)において本研究科との共同研究「Powder Jet Deposition による HA 厚膜形成による歯科治療」が進行中.

(2) その他, 特筆すべき研究・教育・診療・社会貢献等への取組と成果, 世界的位置付け (ISI citation など) など。

- ◎インターフェイス口腔健康科学事業の推進:国際シンポジウムの開催(第1回:平成17年2月2~3日,第2回平成19年2月18~19日予定),フォーラム開催(通回16回開催).第1回シンポジウムの成果は, Monograph [Interface Oral Health Science]として上梓.
- ◎特色ある教育への取り組み:全国共通コアカリキュラム導入に併せ,大学院進学を推進するため学部カリキュラム再編,高学年次にアドバンス科目,歯学基礎演習,歯学基礎研究実習によりプレ大学院教育の充実を図るとともに,臨床実習,臨床研修への円滑な導入に資するため,臨床シミュレーション実習,PBL型歯学臨床ゼミを新設した.
- ◎ 特色ある研究の推進
- ・平成18年度経済産業省地域新生コンソーシアム研究開発事業:「患者参加型歯科医療を実現する噛み合わせの立体可視化装置の開発」(2年間)採択(説明資料②,②E).
 - ・平成17年度 NEDO 国際共同研究助成事業:国際標準創成分野に「歯科用磁性アタッチメントの最適化と国際標準の創成」(3年間)採択(説明資料③,③E).
 - ・厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業):「低侵襲かつ簡便な摂食・嚥下機能評価システムの構築に関する研究」(平成18年~20年)採択(説明資料④,④E).
 - ・その他,厚生労働科学研究費として4件,科学技術振興機構(JST)平成18年度地域イノベーション創出総合支援事業,日本公衆衛生協会(厚生労働省)平成18年度老人保健事業推進費等補助金,日本学術振興会,科学技術振興機構,ぼけ予防協会などから7件の研究費が文部科学省関連以外の研究費として平成18年度に採択.
- ◎地域歯科医療,口腔保健への貢献
- ・地域歯科保健推進室設置準備委員会を設置,宮城県,仙台市ならびに地域歯科医師会と口腔保健推進にかかる連携を推進(説明資料⑤,⑤E).東北大学歯学会50回記念大会など地域歯科医師会との共催講演会,研究科主催のフォーラム開催などの学術連携を推進.